

生成AI時代に地方自治体の未来を語る

人間主導の自治体デジタル民主主義 を考えるシンポジウム

～ 自治体デジタル倫理原則とOP憲章で地域を守る・育てる ～

- 日時 2024年7月10日(水) 14:00 - 16:30
- 会場 慶應義塾大学 三田キャンパス (東京都港区三田2-15-45)
南館 地下4階「ディスタンスラーニング室」
- 概要

参加
無料

申込
不要

生成AIをはじめとする先進技術の社会実装が年々高度化する中、AI技術等の活用は、避けては通れない時代に突入しようとしています。また、SNSを中心に拡散する偽・誤情報は、誹謗中傷だけでなく、大規模災害等における社会混乱など、民主主義を脅かす世界的脅威となっており、地方自治体としても看過できない問題となりつつあります。鳥取県は2023年9月、民主主義や地方自治の本旨を考慮した適正な自治体運営とは何かを議論する研究会を設置。同研究会は、本年4月、研究会報告書の中で、全国にも例のない「自治体デジタル倫理原則」を提言されました。本シンポジウムでは、なぜ生成AI時代に「人間主導」をはじめとする倫理原則の視点が重要なのか、デジタル技術の進展がもたらす利益とリスクに、地方自治体はどう向き合っていくべきかなどを通じ、地方自治体の未来を語ります。

第1部

基調講演

14:05-14:35

自治体が倫理面からデジタル課題にアプローチする意義

～自治体デジタル倫理原則とOP憲章～

■ 山本 龍彦

(慶應義塾大学大学院法務研究科 教授)

- 先端技術と民主主義のあり方を考える研究会 座長
- OP憲章起草委員会共同座長

■ クロサカ タツヤ

(オリジネーター・プロフィール
技術研究組合 事務局長)

- 慶應義塾大学大学院
政策・メディア研究科 特任准教授



第2部

「先端技術と民主主義のあり方を考える研究会」構成員による
パネルディスカッション

14:40-15:25

自治体は民主主義を脅かすデジタルリスクをどう乗り越えるか

■ パネリスト

石井 夏生利 (中央大学国際情報学部 教授)
狩野 英司 ((一社)行政情報システム研究所 主席研究員)
亀井 智子 (米子市元町通り商店街振興組合 理事)
鳥海 不二夫 (東京大学大学院工学系研究科 教授)
横田 明美 (明治大学法学部 教授)

■ コーディネーター

山本 健人 (北九州市立大学法学部 准教授)

第3部

スペシャルトークセッション

15:35-16:25

生成AI時代到来！地方自治の未来をどう描くか

～自治体デジタル倫理原則とOP憲章で地域を守る・育てる～



■ 山本龍彦

×

■ 村尾信尚

×

■ 平井伸治

慶應義塾大学大学院法務研究科 教授

NEWS ZERO 初代メインキャスター
(関西学院大学 教授)

鳥取県知事

共
催



鳥取県
慶應義塾大学
KGRIサイバー文明研究センター

【シンポジウム事務局】

鳥取県政策戦略本部 デジタル局デジタル改革課

電話：0857-26-8319

メール：jouhou@pref.tottori.lg.jp

